



ふれあい

船橋市立金杉台中学校 船橋市金杉台1-2-18 047(448)3877
ホームページ (<http://www.kanasugi-j@funabashi-ed.jp>)

アナログ・コミュニケーションの大切さ～相手の目を見て聞き、話す～ 金杉台中学校長 今井 弘



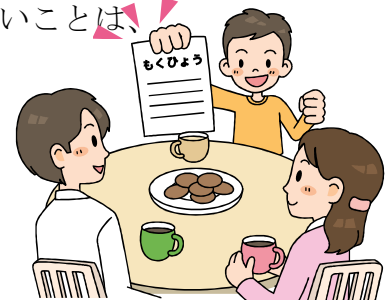
新年を迎え2週間が過ぎ、子供たちの卒業式まであと2か月となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本年も本校の教育活動へのご支援を、何卒よろしくお願ひします。

先日、年明けの集会を行いました。そのとき子供たちには、よりよく生きる手段として、「コミュニケーションを大切に」という話をしました。今日の社会では、実に様々なコミュニケーションを図る手段があります。その中でも携帯電話のソーシャル・ネットワークを活用したデジタル・コミュニケーションは、世界中で広く活用されています。いつでも、どこでも利用できるこのサービスは、社会や人々の生活を一変させました。学校の授業でも、1人1台端末を活用した意見交換や意見の集約など、デジタル・コミュニケーションが日常的に行われています。この先、子供たちが情報化社会をたくましく生き抜くためには、このデジタル・コミュニケーションのスキルを身につけることが重要です。

しかし、入力され、送信された文字からは、相手の実際の表情は見えてきません。まだ人間関係づくりが未熟な子供たちの間では、SNS等におけるトラブルが多発しています。他者と上手にコミュニケーションを図るためには、どうしたらよいのでしょうか。そこで見直してほしいのが、アナログ・コミュニケーションです。

アナログ・コミュニケーションとは、デジタル社会のコミュニケーションに対して、相手と対面で行う昔ながらのコミュニケーションのことです。この対面で行うコミュニケーションで大切なことは、相手の目を見て聞き、話すことです。目を見るということは、相手の表情から気持ちを察することにつながります。うれしい、楽しい、悲しい、悔しい、腹立たしいなどの感情は、顔に出やすいものです。それは、コロナ禍でマスクをしていても、目を見ればわかります。また、対面でのコミュニケーションは、声の調子や大きさ、話す速さなどからも、相手の気持ちを読み取ることができます。相手の気持ちを察することができたら、自分はどのような言葉かけをしたら良いのかを考えることができます。こうして人を思いやる心、思いやりは育つのだと思います。そして、アナログ・コミュニケーションで子供たちに気をつけてほしいことは、

「聞き上手」になるということです。自分のことばかり話す一方通行ではなく、言葉のキャッチボールができてこそそのコミュニケーションです。上手に聞くとは、声の調子を耳で聞くこと、目で表情を見ながら聞くこと、頭で考えながら聞くこと、心で感じながら聞くこと、そして、相手の言いたいことを最後まで時間をかけて聞くことです。



ぜひ、ご家庭でも、子供たちがよりよい人生を送るために、アナログ・コミュニケーションを実践していただければと思います。

1・2月行事

日	曜	校内行事	日	曜	校内行事
1/16	月	平常6時間日課 ⑥私立入試事前指導	2/1	水	千教研日課 水①③④⑤ 千教研船橋支会
17	火	特別日課 朝の会后下校 県内私立入試開始	2	木	平常6時間日課
18	水	平常5時間日課	3	金	平常6時間日課
19	木	平常6時間日課	4	土	
20	金	平常6時間日課	5	日	
21	土		6	月	
22	日	都内私立入試開始	7	火	平常6時間日課 ⑥公立出願前日指導
23	月	平常6時間日課	8	水	特別日課 朝の会后下校 公立高校出願
24	火	平常6時間日課	9	木	平常6時間日課
25	水	平常5時間日課 専門委員会最終	10	金	平常6時間日課
26	木	短縮6時間日課	11	土	建国記念の日
27	金	平常6時間日課 全校評議会最終 公立出願書類最終〆切	12	日	
28	土		13	月	短縮5時間日課 月①②③④⑤ 職員会議
29	日		14	火	平常6時間日課
30	月	平常6時間日課	15	水	平常6時間日課 公立入試志願・希望変更
31	火	平常6時間日課	16	木	平常6時間日課 公立入試志願・希望変更

※曜日や丸数字の表記がない日は時間割の授業を実施

※予定は1/16現在の予定で変更の可能性あり

※最終下校 17:00

表彰

船橋市小・中学校技術・家庭科作品展
【入選】

第67回こども県展
【努力賞】

【学校奨励賞】美術部

受賞おめでとうございます